



平成 24 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所  
(コード番号：4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1  
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木 下 憲 明  
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)  
U R L http://www.ibl-japan.co.jp

## 「血管内皮リパーゼ測定キット」の開発および新製品の販売開始について

当社は、神戸大学大学院医学研究科・内科学講座・循環器内科学分野（平田健一教授・石田達郎准教授ら）との共同研究により、血管内皮リパーゼ（Endothelial lipase、以下「EL」という）の血中濃度を測定するキットを開発し、平成 24 年 11 月 12 日付で新製品として販売を開始いたしますのでお知らせいたします。

### 【概要】

神戸大学の平田健一教授らは、世界に先駆けて、1999年に、ELを単離同定いたしました。ELは、高比重リポ蛋白（High Density Lipoprotein、以下「HDL」という）粒子内のリン脂質に基質特異性が高いホスホリパーゼ A1 分子であり、HDL リン脂質を分解することにより HDL 代謝を促進する HDL の分解代謝酵素です。ELは正常ヒト冠動脈において血管内皮細胞、血管平滑筋細胞に発現していますが、動脈硬化血管においてはこれらの細胞に加えて動脈硬化巣のマクロファージ、新生血管にも強く発現しており、脂質代謝のみならず血管機能を制御し、動脈硬化の進展への関与が考えられています。事実、ELの不活性化によって増加した HDL は抗炎症作用が保持されることから、ELは選択的 HDL 増加療法の分子標的の候補として期待されています。また、血液中のコレステロール値を低下させる薬物のスタチンは、血中EL濃度を減少させるとともに血清 HDL コレステロール値を上昇させることも報告されていることなどから、長年注目されてきた分子です。一方で、血中のELを正確に精度良く測定できる簡便な測定法が無かったために、今まで本分子機能解明の研究の進展が遅れていました。この度の共同研究によるEL血中濃度測定キットの開発および新製品の販売開始は、関連する疾患である動脈硬化症をはじめとする脂質代謝分野の研究の進展に寄与することが期待されます。

なお、本開発の成果は、米国の医化学雑誌『Clinical Chemistry』（12月号）に掲載されるに先立ち、オンライン版に掲載されましたので、併せてお知らせいたします。

(<http://www.clinchem.org/cgi/content/abstract/clinchem.2012.187914>.)

### 【製品情報】

1. 販売開始予定日： 2012年11月12日（月）
2. 製品概要：

製品番号	製品名	規格	価格	保存方法
27182	Human Endothelial Lipase Assay Kit - IBL	96 Well (40 検体分)	¥ 120,000	2~8°C

3. 使用目的：ヒトの血清・血漿中、および培養上清中の血管内皮リパーゼの定量用

以上